作成日：2026 年　4 月　15 日

研究協力のお願い

昭和医科大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

手関節拡散テンソル画像における Deep Learning 再構成の有用性－正中神経描出能および FA 値への影響－

１．研究の対象および研究対象期間

2025 年 4 月～2026 年 4 月に昭和医科大学横浜市北部病院で手関節 MRI 検査を受けられた患者さん

２．研究目的・方法

手根管症候群における神経評価を目的とした MRI 検査の一つに拡散テンソル画像（DTI）があります。DTI は磁場不均一などの影響により画像の歪みやノイズにより神経描出が困難になることがあります。特に手関節のように解剖学的構造が複雑かつ磁場不均一が生じやすい部位では、これらの影響により正中神経の描出や評価が困難となる場合があります。当院では DTI の画質改善を目的として、Deep Learning を用いた画像再構成（DLR）を併用していますが、その有用性については十分に検討されていません。そこで本研究は、Deep Learning 再構成の有無における DTI 画像を比較し、正中神経の描出能および定量評価に与える影響について検討します。

３．研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 12 月 31 日まで

４．研究に用いる試料・情報の種類

情報：手関節 MRI 検査の各画像データ(TR、TE、FA 値等撮像条件)および患者情報（性別、年齢、既往歴）

５．外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

６．研究組織

研究代表者　　研究機関名　昭和医科大学横浜市北部病院氏名　田鎖想也

研究責任者　　研究機関名　昭和医科大学横浜市北部病院氏名　田鎖想也

７．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学横浜市北部病院 放射線技術部　　氏名：田鎖　想也

住所：224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ケ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7145